

令和5年度

第3回学校運営協議会



第1～3回 クラブ活動の様子

令和5年10月27日（金）14：00～15：30

浜松市立上島小学校

第3回学校運営協議会 次第

14:00 ~ 14:08 開 会 【司会：高橋、記録：清水】

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 議長の選出（出席した委員の中から互選）
- 4 前回会議録の確認 ※資料1

14:08 ~ 15:00 熟 議 【司会：議長】

- 5 熟議
 - (1) 学校評価(保護者・教職員)：中間報告について ※資料2
 - (2) 「生活のきまり」について【生徒指導】 ※資料3

15:00 ~ 15:20 【司会：高橋】

- 6 報告
 - ・学校支援活動の進捗状況等について【学校支援CD】
 - ・登下校の旗振り活動(地域ボランティア：まもり隊)について【高橋】

15:20 ~ 15:25 【司会：高橋】

- 7 オブザーバー(曳馬協働センター)より

15:25 ~ 15:30 連絡事項

- 8 連絡
 - ・第3回学校運営協議会開催(予定)について

15:30 閉 会

学校運営協議会での「熟議のルール」

★学校運営協議会とは？

学校運営と学校運営について必要な支援について協議する機関。そのため、学校運営についての熟議の充実がポイント！

★「熟議」とは？

多くの当事者(委員)による「熟慮(よくよく考えること)」と「議論」を重ねながら、課題解決を目指す対話をする。

★「熟議」のルール

- ◎他人の意見を尊重し、否定しない。
- ◎できるだけ多くの人が発言できるようにする。
- 傾聴(目を見て、うなずいて、笑顔で、聴く)
- 発言は、分かりやすく、簡潔にする。
- 建設的(ポジティブ)な意見を言う。
- 他人の意見を参考に、どんどん発想をふくらませていく。
- 共感して考えが変わった場合には、そのことを伝える。



資料2①

保護者・教職員いずれも
80%以上の項目保護者・教職員の評価に乖
離がある項目

令和5年度 前期学校評価アンケート

下線 75%以下の項目

赤字:学校経営方針「温かい学校風土の醸成と発達支援教育を核とした学校運営の推進」に特に関連する項目

青字:今年度の重点「かかわりの中で、自他の成長やよさを実感できる子」の育成に特に関連する項目

質問内容	保護者				教職員			
	R5 前期		R4 後期	R4 前期	R5 前期		R4 後期	R4 前期
	あてはまる + だいたいあては まる	あまりあてはま らない +あてはまら ない	あてはまる + だいたいあてはまる		あてはまる + だいたいあては まる	あまりあてはま らない +あてはまら ない	あてはまる + だいたいあてはまる	
① 気持ちのよいあいさつや、時と場に応じた言葉づかいをすることができている。	82%	17%	76%	75%	56%	44%	88%	64%
② 善悪の区別や公共のマナーを考えた生活をしている。	92%	7%			51%	49%		
③ 自分なりの目標をもち、運動や健康づくりに取り組んでいる。	76%	22%	74%	73%	79%	21%	77%	72%
④ 運動や体力づくりをしたり、健康に気を付けて生活したりすることができるようになってきた。	87%	12%	69%	68%	74%	26%	84%	69%
⑤ 自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、学習に取り組んでいる。	81%	14%	78%	76%	85%	15%	86%	85%
⑥ 学習や行事を通して、自分が「できるようになったこと」や「分かったこと」に気付いている。	88%	9%	85%	86%	82%	18%	91%	82%
⑦ 楽しく学校に通っている。	93%	6%	92%	92%	95%	0%	95%	95%
⑧ 「成長している」という思いをもっている。	88%	6%	86%	87%	90%	10%	88%	90%
⑨ 自分のよさに気付いている。	76%	18%	76%	73%	77%	23%	84%	77%
⑩ 周りの人のよさや成長を見つけている。	81%	13%	81%	79%	85%	15%	89%	85%
⑪ 人の話を聞くことができている。	82%	17%	81%	79%	69%	31%	81%	69%
⑫ 人に思いやりをもって接したり、人が困っているときに助けたりしている。	92%	6%	88%	90%	95%	5%	97%	95%
⑬ 自分の目標や自分で決めたことに向かって努力している。	78%	17%	75%	73%	90%	10%	93%	82%
⑮ 学校は、子供たち一人一人を大切にした指導・支援に努めている。	66%	33%	82%	80%	82%	18%		
⑯ 学校は、たよりやブログなどを通して、家庭に学校での様子がよく分かるように伝えている。	78%	15%	67%	83%	92%	8%	92%	92%
⑰ 学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる。	79%	11%	72%		95%	5%	95%	
⑱ 学校は、いじめに対して、迅速かつ丁寧に対応している。	73%	7%			97%	3%		
⑲ お子さんは、【(学年+1)×10分間】、家庭での学習に進んで取り組むことができている。	58%	8%	67%	66%				

本校の子供たちのよさ

素直さ

他への思いやり

人の役に立ちたい



○ 教師の思いや願いを、「言動」や「環境」を通して丁寧に伝える。

- ・「教師が思いや願いを語る場」を大切にし、子供たちの意欲や意識を高める。
- ・教師自身の言動や校内環境（＝暗黙の教え）に留意する。

○ 子供同士の人間関係づくり（＝「絆づくり」「横糸をつなぐ」）を進める。

- ・認め合う場を設定・継続するとともに、活動の価値付けや振り返りを行う。
- ・絆づくりの場（お楽しみ会等の学級集会、学級遊びなど）を設定し、振り返りの場を持つことで、仲間意識や自己有用感を高める。
- ・望ましい人間関係づくりについて学ぶ場や体験する場を設定する。
→道徳の時間、学級活動、エンカウンター、ソーシャルスキルなど

本校の子供たちの課題

規範意識・自己判断力

主体性・自主性

挨拶・言葉遣い・コミュニケーション

家庭学習



○ ルールやマナー、言葉遣いなどに対する理解を深めさせ、行動変容を促す。

- ・目的や意義（そのルールやマナー、時と場に応じた言葉づかいなどがなぜ必要なの？）について、丁寧に伝えていくとともに、子供自身が考えることができる場を設定する。
- ・具体的な場面を取り上げたり、具体例をあげたりしながら、望ましい行動について指導したり、話し合ったりすることで、学級・学年全体で共有する。

○ 自ら「気付き・考え・行動する」機会や体験を設定し、自主性や自治的能力を高める。

- ・「温かい聴き方」の指導を継続するとともに、「望ましい話し方・話し合い」の指導にも力を入れ、「対話的な学び」を軸に授業改善を進める。
- ・自己の学習や生活について目標設定や振り返りを行うなど、自己決定・意思決定する機会を大切にする。
- ・特別活動（特に学級話し合い活動や係活動）を充実させ、発達段階に応じて自分たちで企画したり運営したりする体験を積み重ねることで、自治的能力を高める。
- ・学校行事における意義や目的の共有、目標づくりなどを丁寧にいき、主体的・自主的に取り組めるようにする。

○ 主体的・自主的な家庭学習となるような指導・支援、家庭との連携を進める。

- ・家庭学習の意義や取り組み方について再確認し、自主的な行動を促す。
- ・家庭学習の内容や量について、学年や学年団で再検討する。
- ・「学年便り」等を活用し、家庭学習の目的や方法について保護者と共有する。